

## 2009 年度・研究旅行奨励制度 【個人】

<b>名 前</b>	横田伊織	<b>研究テーマ</b>	西洋美術における「光」の表現 —ゴシック・ルネサンス・バロック・印象派・ モダンアートの「光」を巡る—
<b>目的地</b>	<b>国 名</b>	<b>地域・都市名</b>	
	イギリス・フランス・ オランダ・ベルギー・ドイツ	ロンドン・アムステルダム・ブリュッセル・フランクフルト・ ケルン・ミュンヘン・パリ	

### 研究旅行の目的

西洋美術に現れた「光」の表現に注目して、ゴシック美術からモダンアート（20 世紀芸術）まで、実際の建築物や絵画を自分の目で見直すことで、その比較をしていく。美術史を通して、「光」に対する考え方が変わってきた（※）ため、実際の作品を見ることで、その考え方の変化が、どのように作品に影響し、反映しているのかを確かめる。

（※中世においては、「光」は聖なるもの、「神」の存在のメタファーであり、「自ら光る（見える）もの」として考えられてきた。一方ルネサンス以降は、「光」は自然科学的に捉えられるようになり、「他からの照明があって初めて光る（見える）もの」として捉えられるようになった。）

### 期待される成果

西洋美術における光の表現を、ゴシック美術からモダンアートまでの実作品を自分の目で見直し、その印象を作品毎に記録することで、光の表現の変化を、より明確に比較することが出来る。また、光の美しさや、そこに含まれる意味を解釈しながら見学することで、作品に対する興味が深まり、今後の研究のモチベーションを高めることが出来る。さらに、フランス語圏のパリやブリュッセルにおいては、フランス語の習得に向けた、日ごろの学習を活かすことが出来るため、語学の向上も期待できる。

### 旅行行程表

旅行期間：2009 年 8 月 27 日～9 月 13 日 [ 18 日間 ]

	滞在地	行 動
第 1 日目 8 月 27 日	台北	12:20 福岡発—13:40 台北 (Taiwan Taoyuan Intl Arpt) 着 (エバー航空 BR2105)
第 2 日目 8 月 28 日	London	09:00 台北発—19:15 London (Heathrow) 着 (エバー航空 BR0067)
第 3 日目 8 月 29 日	London	The National Gallery へ
第 4 日目 8 月 30 日	London	city・London tower 周辺

第5日目 8月31日	Amsterdam	08:10 London Heathrow 発—10:30 Amsterdam Schiphol Arpt 着 (ブリティッシュ・ミッドラン BR0103) Amsterdam 市内観光 (街の中における「光」の印象を感じ取る)
第6日目 9月1日	Amsterdam	Rijksmuseum (国立ミュージアム) へ
第7日目 9月2日	Bruxelles	09:56 Amsterdam—12:45 Bruxelles 着 (列車) Bruxelles :Musée Royal des Besux-Arts (王立美術館) へ
第8日目 9月3日	Bruxelles	Brugge へ (列車)
第9日目 9月4日	Cologne	12:59 Bruxelles 発—15:15 Cologne 着 (列車) ケルン大聖堂へ
第10日目 9月5日	Frankfurt am Main	13:20 Cologne 発—14:30 Frankfurt am Main 着 (列車) 午後: Stadel Museun へ
第11日目 9月6日	Munich	午前～正午: Frankfurt am Main—Munich (列車) Alte pinakothek へ
第12日目 9月7日	(車中泊)	午前: Munich 市内観光 22:44 Munich 発—
第13日目 9月8日	Paris	—09:30 Paris 着 13:30～14:00 Chartres へ
第14日目 9月9日	Paris	午前: St.Denis (大聖堂へ) 午後: Musée National d'Art Moderne へ
第15日目 9月10日	Paris	Palais du Louvre へ
第16日目 9月11日	Paris	Fontainebleau へ
第17日目 9月12日		11:20 Paris CDG Arpt 発— (エバー航空 BR0088)
第18日目 9月13日		—06:35 台北 (Taiwan Taoyuan Intl Arpt) 着 08:10 台北発—11:20 福岡着 (エバー航空 BR2106)